



FUJIKURA COMPOSITES

INTERIM BUSINESS REPORT 2020

第141期 中間報告書
2019年4月1日～2019年9月30日

激変する世界情勢に対応できる 藤倉コンポジットを目指した基盤構築に邁進していきます。



代表取締役社長 森田健司

日頃は格別のご支援を賜りお礼申し上げます。

ここに当社グループ（当社および連結子会社）の第141期第2四半期（2019年4月1日～2019年9月30日）の事業の概況と業績についてご報告いたします。



当第2四半期の業績は いかがでしょうか？

2020年3月期（当期）は、米中貿易摩擦の長期化から中国市場を中心とした世界的な景気悪化により、業績面で厳しい結果となりました。売上高、営業利益で苦戦し、円高による為替差損から経常利益も大きく減少しました。さらに、当社中国子会社2社の不適切な会計処理の調査費用等を特別損失として計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も大幅に減少しました。

このような厳しい環境下ではありますが、当社グループは第5次中期経営計画で掲げた、3ヵ年合計売上高1,000億円の目標達成に向けて邁進していきます。しかしながら、中国やベトナムでの人件費増や原材料費の高騰、円高による為替差損などの影響を受けて、各利益は、残念ながらダウンする可能性が高いと予測しています。



当社グループの主な事業「産業用資材」「引布加工品」「スポーツ用品」について状況をお聞かせください。

「産業用資材」では、当社グループの主力である工業用品部門で、世界的な自動車販売台数減少の影響を受けました。また、制御機器部門では、半導体関連メーカーの減速の影響を受けました。

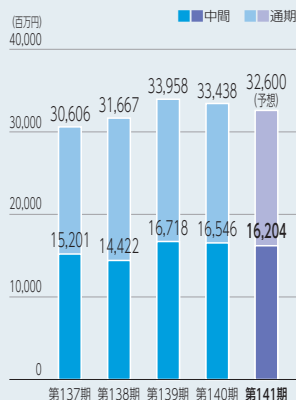
「引布加工品」では、加工品部門の舶用品が好調で、印刷材料部門で新聞市場の受注拡大に注力しました。

「スポーツ用品」では、2019年9月に発売したゴルフ用カーボンシャフト「Speeder Evolution VI」が多数のプロゴルファーに採用され、注目を集めました。「Speeder Evolution V」に引き続き、販売拡大に向けた営業活動を注力していきます。また、アウトドア用

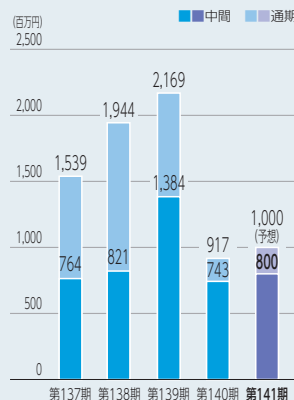
品部門では、取り扱い商品であるボルダリング用シューズが東京オリンピック出場予定の選手に採用されています。今後、拡販に向けた活動に取り組んでいきます。

一方、新素材を開発・活用した新製品開発、販路開拓にも積極的に取り組んできました。台風15号・19号の被災地に非常用モバイル充電器『アクアチャージ』を配布し、非常用電源として広く認知されました。摺動抵抗ゼロのエアベアリングシリンダーも展示会で注目を集め、営業活動を強化しています。CFRPは、ドローンのフレームやスポーツ吹き矢の素材として開発を進めています。また、医療機器の品質マネジメントシステムの国際規格「ISO 13485:2016」を認証取得し、医療関連製品の上市も見えてきました。

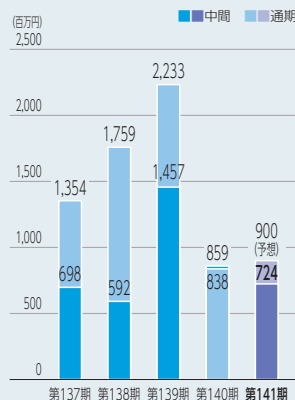
連結売上高の推移



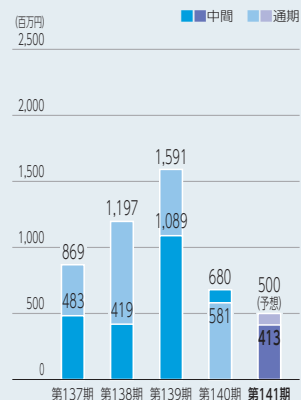
連結営業利益の推移



連結経常利益の推移



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益の推移



Q3 中国子会社2社の不適切会計問題についてお聞かせください。

当社連結子会社である杭州藤倉橡膠有限公司、安吉藤倉橡膠有限公司の2社で、一部経費の未計上、社会保険料や所得税の未納付問題が発覚しました。そこで、外部有識者による特別調査委員会の調査を経て、決算短信および有価証券報告書の訂正、特別調査委員会の調査報告書を2019年6月26日にリリースしました。この中で掲げた今後の再発防止策は、P5に掲載しましたのでご確認ください。

本件は、中国で展開してきた事業を現地任せにしたことが原因です。既に現地副総経理は退任し、新たに中国子会社の管理本部を立上げ、経理部門のスペシャリストと内部監査室のリーダーが駐在し、本社と一体となったガバナンスや内部監査の強化を目指した管理体制整備を進めています。またコンプライアンスや意識改革を図る研修や、権限が集中しないために業務分掌の見直しや社内規程の改定整備にも着手しました。

また、国内外の子会社への展開も順次取り組んでいます。今後は、各拠点の情報を吸い上げ、現地任せからの脱却を目指し、本社が意思決定を行っていく体制を構築していきます。

本件については、既に中国政府や税務当局への申告も済ませました。今後は、現地に駐在している二人を通じて、本件の全容を解明していきます。その調査結果については、株主様および従業員や取引先のステークホルダーの皆様へ、必ず報告させていただきます。

Q4 最後に今後の展望と株主様へのメッセージをお願いします。

2019年6月27日の株主総会で、取締役の3分の1が独立役員となりました。経験豊かな3名からの助言やアドバイスを得ながら、ガバナンスや内部監査の強化を加速させていきます。

また、当期を最終年度とする第5次中期経営計画では、「品質管理部門」の創設や生産技術センタープロジェクトを推進し、不良損金の削減も進めてきました。今後は、専門のコンサルタントを導入し、コスト増の圧力が強まる中で、さらなる品質管理体制の強化を進め、適正な利益の確保を追求していきます。

株主の皆様への利益還元では、安定配当の基本方針のもと、第2四半期に7円、期末に7円の年間14円を予定しています。

株主の皆様には、今後とも倍旧のご愛顧と、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

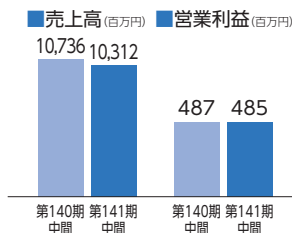


営業の概況 Business Review

63.6% 産業用資材

工業用品部門は、世界的な自動車販売台数の減少により自動車関連部品が減収となりましたが、コストダウンに努めた結果、わずかながら増益となりました。制御機器部門は、引き続き半導体関連メーカーの減速、産業機械関連にも影響が出はじめ減収減益となりました。電気材料部門は、インフラ工事用部材が堅調さを維持し、非常用マグネシウム空気電池『WattSatt』、『アクアチャージ』の受注も順調に推移し、増収増益となりました。

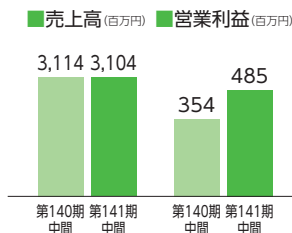
この結果、売上高は103億1千2百万円(前年同四半期比3.9%減)、営業利益は4億8千5百万円(前年同四半期比0.4%減)となりました。



19.2% スポーツ用品

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、大手ゴルフクラブメーカー向け製品の販売減速の影響を受け減収となりましたが、海外において今春発売の『VENTUS』、国内において今秋発売の『Speeder EVOLUTION VI』を中心に高く評価され、高価格帯商品中心にリシャフト市場での販売が好調に推移し、増益となりました。アウトドア用品部門は、主力の『キャラバンシューズ』『ブランドキング』や『LEKIポール』が売上を確保し増収増益となりました。

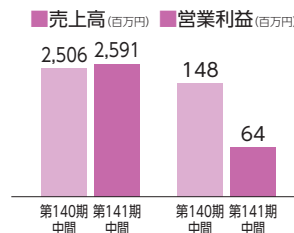
この結果、売上高は31億4千万円(前年同四半期比0.3%減)、営業利益は4億8千5百万円(前年同四半期比37.0%増)となりました。



16.0% 引布加工品

引布部門は、アジア諸国の景気減速による輸出低迷、半導体不振により、自動車関連製品、音響関連、高耐熱シートの需要が落ち込み減収減益となりました。印刷材料部門は、高付加価値製品が堅調に推移したものの、海外販社の受注減の影響を受け減収減益となりました。加工品部門は、国内において救命設備など舶用品が増収となりましたが、品種構成の変化により減益となりました。

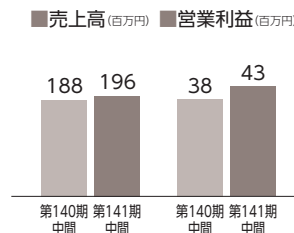
この結果、売上高は25億9千1百万円(前年同四半期比3.3%増)、営業利益は6千4百万円(前年同四半期比56.9%減)となりました。



1.2% その他

物流部門は、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1億9千6百万円(前年同四半期比4.1%増)、営業利益は4千3百万円(前年同四半期比11.0%増)となりました。



コーポレート・ガバナンス対策

当社は、今回の不適切会計の発生原因分析を踏まえ、以下の再発防止策を決定いたしました。

1 コンプライアンスについて

- 従業員へのコンプライアンス研修実施。
- 中国法規（労働・会計・環境等）の理解と整備。
- 中国子会社の管理体制整備のための派遣。
- 現地従業員からの情報を吸い上げる仕組みの構築。

2 コーポレートガバナンスについて

- 役員のコーポレートガバナンス意識改革。
- 取締役会の海外子会社に対する現状リスクの理解と問題点の討議強化。
- 閉鎖的な組織体制の見直しを図る。

3 内部統制について

- 管理・監査業務の強化。
- 人事ローテーションの活性化。
- 社内規定の改定・整備。
- 業務分掌の見直し。業務プロセスのルール化。

4 今後の監査対応 (子会社管理体制の強化) について

- 親会社会計監査人、監査役会、内部監査室と連携を取り、現地での調査時間及び調査内容の充実を図る。

子会社内部監査室

子会社に内部監査室を設置し、本社内部監査室と連携を図り、監査の充実を図る。

親会社内部監査室

各子会社特有のリスクに対して、子会社内部監査室と連携し、監査の深堀を強化。（四半期毎）

子会社会計監査人

経験、能力、親会社会計監査人との連携の取れる監査人を選出し、監査の充実を図る。

5 当社グループへの展開

- 当社国内外子会社においてもコンプライアンス、ガバナンス、内部統制の機能状況を再度確認し、改善活動のPDCAを回し、会社の体制強化を図る。

TOPICS

台風15号及び19号で被災した 千葉県にマグネシウム空気電池を お送りいたしました。

この度の台風15号及び19号により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

弊社は、被災されました方々のお役に立てていただくため、千葉県の各市町村に非常用マグネシウム空気電池『Watt Satt』と、非常用モバイル充電器『アクアチャージ』をそれぞれお届け致しました。

被災地域の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

供給場所と供給物資

(単位：台)

供給場所	Watt Satt	アクアチャージ
富津市役所	5	30
館山市役所	1	—
富浦駅付近ボランティア配給所	1	30
南房総市役所	5	100
館山市神戸地区公民館 臨時配給所	—	90
南房総市ボランティア配給所	—	30
鋸南町役場	2	30
富津市金谷公民館配給所	—	50
富津市竹岡コミュニティセンター	1	60
富津市峰上公民館	1	—
木更津イオン内未来屋書店	—	20
無償提供製品数合計	16	440



連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

■ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

科 目	期 別	当第2四半期末 2019年9月30日現在	前期末 2019年3月31日現在
資産の部			
流動資産		21,202	21,630
現金及び預金		5,024	5,188
受取手形及び売掛金		9,695	10,310
商品及び製品		2,458	2,184
仕掛品		2,413	2,439
原材料及び貯蔵品		796	842
その他		843	691
貸倒引当金		△ 28	△ 27
固定資産		14,847	13,951
有形固定資産		12,862	11,771
無形固定資産		293	326
投資その他の資産		1,691	1,853
資産合計		36,049	35,581

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第2四半期末 2019年9月30日現在	前期末 2019年3月31日現在
負債の部			
流動負債		8,458	7,497
固定負債		3,330	3,905
負債合計		11,789	11,403
純資産の部			
株主資本		23,956	23,707
資本金		3,804	3,804
資本剰余金		3,212	3,212
利益剰余金		16,960	16,710
自己株式		△ 20	△ 20
その他の包括利益累計額		303	470
純資産合計		24,259	24,178
負債純資産合計		36,049	35,581

■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	期 別	当第2四半期(累計) 2019年 4月 1日から 2019年 9月30日まで	前第2四半期(累計) 2018年 4月 1日から 2018年 9月30日まで
売上高		16,204	16,546
売上原価		12,145	12,451
売上総利益		4,059	4,094
販売費及び一般管理費		3,258	3,351
営業利益		800	743
営業外収益		111	219
営業外費用		187	103
経常利益		724	859
税金等調整前四半期純利益		494	859
法人税、住民税及び事業税		119	169
法人税等調整額		△ 37	8
四半期純利益		413	680
親会社株主に帰属する四半期純利益		413	680

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	期 別	当第2四半期(累計) 2019年 4月 1日から 2019年 9月30日まで	前第2四半期(累計) 2018年 4月 1日から 2018年 9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		809	880
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,393	△ 966
財務活動によるキャッシュ・フロー		533	△ 138
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 112	△ 56
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 163	△ 281
現金及び現金同等物の期首残高		5,188	5,601
現金及び現金同等物の四半期末残高		5,024	5,319

会社概要 (2019年9月30日現在) Corporate Data

■ 会社概要

創 業 1901年 10月
資 本 金 38億429万円
従 業 員 数 連結 2,617名
単体 652名

■ 役員

代 表 取 締 役 森 田 健 司
取 締 役 社 長
常 務 取 締 役 高 橋 良 尚
常 務 取 締 役 植 松 克 夫
取 締 役 金 井 浩 一
取 締 役 高 橋 秀 剛
取 締 役 弓 削 千 賀 志
取 締 役 (社 外) 長 谷 川 嘉 昭
取 締 役 (社 外) 長 浜 洋 一
取 締 役 (社 外) 佐 々 木 聡
常 勤 監 査 役 神 山 幸 一
監 査 役 (社 外) 細 井 和 昭
監 査 役 (社 外) 田 中 響 子

● 取締役 長谷川嘉昭及び長浜洋一並びに佐々木聡、監査役 細井和昭及び田中響子の各氏を、東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2に定める独立役員として同取引所に届け出ております。

■ 子会社 (*:連結対象)

会社名	国名	主要な事業内容
* 藤栄産業株式会社	日本	産業用資材製品の製造
* 株式会社キャラバン	日本	アウトドア用品の販売
* 藤栄運輸株式会社	日本	運送事業
* Fujikura Composite America, Inc.	米国	ゴルフ用カーボンシャフトの販売
* FUJIKURA GRAPHICS, INC.	米国	印刷用ブランケットの販売
* IER Fujikura, Inc.	米国	工業用ゴム製品の製造販売
* 杭州藤倉橡膠有限公司	中国	工業用ゴム製品の製造販売
* 安吉藤倉橡膠有限公司	中国	工業用ゴム製品の製造販売
* FUJIKURA COMPOSITES HAIPHONG, Inc.	ベトナム	産業用資材、引布加工品及びゴルフ用カーボンシャフトの製造
株式会社藤加工所	日本	救命筏、産業資材の製造
株式会社アールアンドアールフジクラ	日本	ゴルフクラブのリシャフト・フィッティング
株式会社藤光機械製作所	日本	産業用精密部品の製造
株式会社福島キャラバン	日本	アウトドア用品の流通
株式会社アイオス	日本	精密金属加工
Fujikura Composites Korea, Co., Ltd.	韓国	工業用ゴム製品、制御機器、アウトドア用品の販売
Fujikura Composites Europe B.V.	オランダ	印刷用ブランケットの販売

■ 当社グループ主要製品及び商品

工業用品

ダイヤフラム、BFダイヤフラム、シール部品、精密部品、
アンブレラ、ダックビル、防振ゴム、水ガバナ

制御機器

各シリンダ、レギュレータ（減圧弁）、流量調整弁、
チェック弁、リリーフ弁

電気材料

超低硬度材料、各種機能性テープ、常温収縮チューブ、
導電・絶縁材料、風力発電機用ブレード保護シート、
マグネシウム空気電池

引布

ゴム引布、極薄ゴムシート、接着・粘着処理、ラテックス

印刷材料

印刷用ブランケット

加工品

船舶用救命設備、航空機用救命設備、コンサベータ、
産業用資材

スポーツ用品

ゴルフ用カーボンシャフト、産業用CFRP製品、アウトドア用品

■ 当社事業所

本 社

〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7 TOC有明

大阪支店

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4

勝田営業所

〒312-0041 茨城県ひたちなか市西大島2-6-21

名古屋営業所

〒460-0011 名古屋市中区大須4-1-40

岩槻工場・エンジニアリングセンター

〒339-8510 さいたま市岩槻区上野6-12-8

原町工場

〒975-0027 福島県南相馬市原町区上北高平字植松268

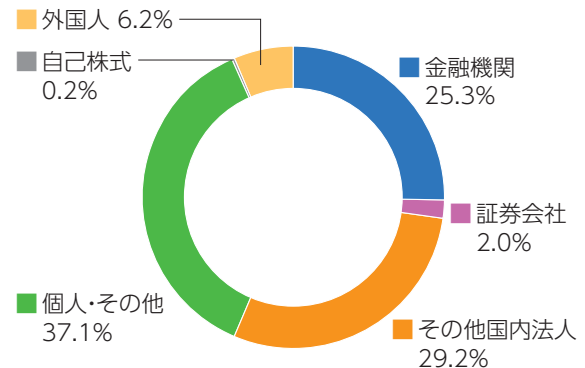
加須工場

〒349-1158 埼玉県加須市新利根1-4-4

■ 株式の状況

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式総数	23,446,209株
株主数	10,125名

■ 所有者別持株比率



■ 大株主の状況

株主名	持株数 (株)	出資比率 (%)
株式会社フジクラ	4,776,300	20.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,068,400	4.57
富国生命保険相互会社	950,000	4.06
藤倉化成株式会社	569,840	2.44
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	556,300	2.38
藤倉航装株式会社	515,210	2.20
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	444,800	1.90
三井住友海上火災保険株式会社	437,500	1.87
三井住友信託銀行株式会社	418,000	1.79
明治安田生命保険相互会社	400,808	1.71

出資比率は、自己株式49,445株を除いて計算しております。

株主メモ Stockholder Memo

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会の議決権・期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日

公告掲載方法 当社ホームページ
上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

*確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

フジクラシャフト新商品のご案内

世界中のゴルファーにご愛用いただいている
Speeder EVOLUTIONシリーズの6代目となる

『Speeder EVOLUTION VI
(スピーダー エボリューション シックス)』を
9月に発売いたしました。

最先端技術でインパクトの強さによる飛距離性能と
抜群のコントロール性能を両立しており、
既に国内外のプロツアーで多くの実績を残しています。

また、Speeder EVOLUTION シリーズ
最軽量となる30g台が追加になったことで、
より多くのゴルファーにお使いいただけるよう
になりました。



商品情報の詳細は、HPをご覧ください。

<http://www.fujikurashaft.jp/>

フジクラシャフト

検索

カチッ!

藤倉コンポジット株式会社

〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7 TOC有明
(証券コード：5121)

この中間報告書は、当社のブランケットを
使用して印刷しております。

